

第 11 回ねごろ医用実学研究会 アンケート集計結果
(近畿大学生物理工学部 医用工学科在校生分)

- 1 セコムさんのお 2 人の話が印象に残っており、もしも現場に向かった際に医療行為を行うこともできるスタッフさんが今後でてくるとどのように社会に発展していくのかと思いました。
- 2 今回の講演会では今注目されている遠隔のことを議題にされていて今現在使われているものや遠くない未来実現しそうなものなど医療の発展は日々更新されていくものだと実感させられました。また臨床工学技士の仕事の種類も増えていくように感じました。
- 3 緊急通知システムでは発信から救助者到着までの時間ロスをどう考えるのか気になりました。また、オンライン診療と遠隔医療の概念が変わりました。どの公演も今後の発展に興味を抱く内容であり、臨床工学技士としての医療との関わり方が問われていくのだと感じました。ご講演いただきありがとうございました。
- 4 今回は zoom 上での開催だったが質疑応答が zoom 上なので、円滑に行われていた。先生方は限られた時間ながらもわかりやすくまとまっていた。
- 5 セコムで医療に携わっていることを知らなかったのが驚きました。医療システムがあることで一人になったとしても緊急の時、安心だと思いました。
- 6 今回の先生方の講義の内容は理解できた部分もあったが、難しかった内容もあった。そのためどこを質問するべきか分からなかった。だからもっと勉強するべきだと感じた。
- 7 どの講演も楽しく面白く拝見させていただきました。
- 8 通信技術を用いた在宅医療の発達に従って、今後さらに高まるであろう医療従事者の不足に対してどのように対応するのか、AI が処方を行えるように法改正される可能性はあるのか。
- 9 黒田先生の話がわかりやすく勉強になりました。
- 10 (今後聴きたいテーマ) 一番最後にご講演くださった黒田先生の講演内容は特に興味をひかれたので、現在の医療に対する情報の介入に関してのテーマがまた聞きたいと感じた。
- 11 遠隔医療の現状や今後の動向が理解できた。遠隔医療は AI とは深く関連していて、質の高い、多くの患者の身体情報のみならず生活環境の医療データが必要であり、その収集が今後の大きな課題であると実感した。臨床工学技士は、遠隔医療に関して知識を深めていく必要があり、医療現場に入ってくる遠隔医療のモダリティの安全性と有効性の維持に従事していくことが求められるのだらうと感じた。

- 12 京都大学医学部 黒田先生による遠隔治療のご講義にすごく興味が湧きました。前々から遠隔医療という存在はどこかのメーカーの CM を見て知ってはいましたがそこまで関心を持っていませんでした。自分の中で「遠隔治療なんて」や「結局は病院に通院しなくてはいけないのだ」などと思っていました。また、今は色々なものがハッキングされ個人情報の流出などが起こる時代に遠隔で治療を行い大丈夫なのかとも思っていました。これらの疑問点が今回の講義で理解できたことが自分にとってとても大きな知識を得られたと思っております。しかし、黒田先生も最後に仰ったように遠隔治療を行うにはたくさん問題点があると思います。そのような問題点をこれから自分自身も学んでいきたいとこの講義を受けて思いました。
- 13 様々な分野における医療の在り方について学べたと思います。個人的には、セコムの安否確認サービスが印象に残っております。現在では駆け付けた方による医療行為や直接の搬送要請はできないとおっしゃっていましたが、医療者による訪問や 119 への紐付けが可能になれば、より緊急性がある場合でも対応できるのではないのかなと思いました。
- 14 皆様の講義を受講させて頂き、医療がセコムさんや AI など様々な分野に広がっているんだと思いました。その中でも京都大学医学部 黒田先生の講義がとても印象に残っています。医療データと AI を組み合わせることで非常に便利なシステムができるとわかりました。しかし、それを実現するには多くの課題があり、近い未来のようで実際は少し先のように感じました。大変、貴重なお話を聞かせて頂いたと実感しています。今回はこのような機会を設けて頂きありがとうございました。
- 15 これからの在宅医療について聞くことが出来、大変有意義な時間を過ごすことが出来ました。今後、臨床工学技士が在宅医療に携わるため、より一層勉強していきたいと思います。
- 16 現在の在宅医療の状況から、問題点、さらにそれに対する課題などを聴講できました。今後自分が社会に出て医療技術の発展にどのように携わり、貢献できるかについて考える材料となり、身になる研究でした。
- 17 医療分野における AI の必要性があるとわかった。自分の研究でも AI を使ったので、さらに深く AI について学びたいと思った。
- 18 (今後聴きたいテーマ) 在宅医療に向けた医療機器メーカーの取り組みについて聴きたいです。
- 19 難しい内容で全てを理解できたわけではないですが、たくさんの情報を知ることができる貴重な講演でした。
- 20 (今後聴きたいテーマ) 本日の講演会で特に中島先生の講演に興味がありました。便器を利用して尿を検査するという発想が素晴らしいと感じました。排尿は年齢を重ねるにつれて患者による尿の記録が難しくなると先生が仰っていましたので、便器に直接装置を設置することで、患者(特に高齢者)の負担が軽減されることがわかりました。また記録の信憑性の向上し正確な記録をとることができるので、患者だけでなく医療従事者にもよい素晴らしいアイデアだと思いました。今後、このテーマの新たな報告をお聞きしたいです。

- 21 従来の仕事内容だけでなく、新技術にも対応できるだけの知識をつけていかなければならないと感じた。
- 22 大変興味深い講演会でした。私自身、中止になった前回から開催をととても楽しみにしていたので今回は参加できて大変嬉しく思います。ありがとうございます。
- 23 分かりやすくご説明いただき非常に良い経験になりました。
- 24 まだまだ発展途上にある技術や取り組みを知る機会が得られ、一学生として学び追求し続ける貴重な体験となりました。
- 25 (今後聴きたいテーマ) 最初難しい話だろうなと思って聞いていたら、検証したデータの数字を使ってわかりやすく説明してくださり、学生の私でも理解することができた。今日の研究会で聞いたことをまた何年後かに聞いてみたい。
- 26 今回の講演会では、貴重な話を分かり易く丁寧に話して頂きありがとうございます。私にとっては、少し難しく感じる話もありましたが、とてもためになりました。
- 27 情報化社会になってきていて、それとともに医療のあり方も変わっていくということを知ることができました。大変貴重な講演会をありがとうございました。
- 28 内容が全体的に少し難しいと感じましたが、説明がとても丁寧だったのでわかりやすかったです。
- 29 今回色々な研究の話を聞いて臨床工学技士が活躍できる場はどういう研究かを改めて考えることができました。このようないい機会に恵まれて良かったと思います。
- 30 (今後聴きたいテーマ) それぞれのテーマのその後を聞きたいです。
- 31 難しい内容をここまでわかりやすく説明できることに驚きました。
- 32 (今後聴きたいテーマ) 医療現場において、トラブルがあった際にどういった対応をしているかを聞いてみたいです。また、医療現場において在宅医療が進められているかが詳しく聞いてみたいです。
- 33 少子高齢化が進み、高齢者の一人暮らしによって体調を悪くし家で誰にも気づいてもらえないまま亡くなってしまう事例が多くあるけれど、トイレでの排泄やテレビの視聴によって高齢者を遠隔で見守ることができることに興味を持ちました。
- 34 4名の先生方には、お忙しい中お時間をいただいて貴重なお話を学生でも理解できるようにわかりやすくして聞かせていただいたことについて感謝に堪えません。各方面の将来展望・課題等に焦点を向けてお話ししていただいた事により、将来見据えるべき課題について新たな知見を得ることが出来ました。特に、黒田先生がおっしゃっていた「情報化医療社会の発展によって、データの出所と性質を知る技師の役割は重い」という一言に、将来臨床工学技士として臨床に立つことを希望する身

として肝に銘じておくべき事と感じました。

35 (今後聴きたいテーマ) 医療と工学のその後

36 学生の私たちでもわかるように説明してくださりありがとうございました。中には難しく感じる話もありましたが、今日はとても貴重な経験ができたと感じています。ありがとうございました。

37 とても貴重な話を聴講することができ、このような研究会を開いていただいた先生方に深く感謝申し上げます。

38 在宅における健康管理や情報収集法、緊急時での対応など、新しい医療の形について知ることができ、自分自身の思考の幅を広げることができました。とても貴重なご講演をありがとうございました。特に、これから研究していく内容でもある黒田先生、ご講演の情報化医療について、どのような医療の形が求められているか、また、こういった研究が必要であるかを深く学習することができました。ありがとうございました。

39 (今後聴きたいテーマ) 人工心肺などの分野

40 在宅医療の現在の取り組みや今後の課題がわかった。

41 これからの医療がどうなっていくのか最先端のことについて知ることができ、非常に有意義な時間だった。

42 臨床工学技士は患者のために医療機器の取り扱いや管理をするものとばかり思っていたが、医療機器の開発のためや問題点を改善するために、現場の意見を企業や研究機関に届けることも重要であるとわかった。予防のための AI 開発の必要性や、在宅医療を進めるためのサービスなど、最新の医療を知ることができてよかった。

43 医療情報・遠隔医療の知識だけでなく、臨床工学技士の関わりについても知ることができ、非常に貴重な機会であったと思います。非常にわかりやすい講演でした。

44 バイタルの常時計測や尿流計の研究、AI の診療記録など、興味深かったです。

45 (今後聴きたいテーマ) 少子高齢化に伴って発展する遠隔医療について

46 京都大学医学部 黒田先生のご講演において、医療のデータ化に伴って臨床工学技士の役割が大きくなっていくことについては、あまり考えたことがなかったので、面白いなと思いました。また、どんなにデータ化、AI 化が進んだとしても最終的には人と人との繋がりや会話が必要であることも面白いなと感じました。

47 自分が今後医療に携わる人間として、最先端の研究されている方々の話を聞くことができとても貴重な機会となりました。

- 48 難しい話が多くてわからないこともあったが、勉強になった。
- 49 非常にわかりやすい講演をして頂き有難うございました。
- 50 とても分かりやすかったです。
- 51 今後さらに AI が医療に介入してくると思いますが、医療と AI が上手く関わっていくにはどのようにすればよいか知りたいです。
- 52 本日の講演は自分が想像していたよりも、非常に専門的な内容であったために専門用語が飛び交い理解するのが難しく感じました。本当に貴重な時間をありがとうございました。
- 53 難しい話もあったので改めて勉強しようと思いました。コロナウイルスの影響によってオンラインやネットを利用するサービスが増えていることを実感しました。
- 54 どの講演も非常にわかりやすかったです。特に黒田先生の講演は非常に興味深く、もっと詳しく聞きたいと思いました。ありがとうございました。
- 55 遠隔医療について深く知ることができた。
- 56 (今後聴きたいテーマ) 私は特別講演Ⅱにとっても関心を持ちました。コロナウイルス蔓延の状況下で遠隔医療の需要が高まっていく中での遠隔医療のルール改正について詳しく、わかりやすく解説してくださり、ありがとうございました。今後聴講してみたいテーマとしましては、今回の特別講義Ⅱの中でも話がありました、ビッグデータと医療について、とその展望について聴講したいと感じました。
- 57 京都大学の黒田先生の講演がとても興味深い内容でした。遠隔医療、AI を使った診断など医療情報の扱い方が今後どのように進化していくのか、自分でも調べてさらに深く理解したいと思いました。また、セコム(株)が現在行われているホームセキュリティに関する講演、富山大学の中島先生の在宅における健康管理の研究に関する講演も楽しく聞くことができました。今の私の知識量では理解できたことの方が少なかったですが、今までとは違う着眼点で医療について考えていきたいと思いました。情報量が多く、とても刺激を受けました。ありがとうございました。
- 58 自分が最も印象に残ったのは在宅医療の躍進である。自分の在宅医療のイメージは自分の意志で家から出られない寝たきり状態の患者さんが家にいながら治療を受けられるサービスで日本では余り普及しておらず、受けられる治療の種類も多くはないという認識だった。しかし、世界的に見ても日本は在宅医療の普及率がトップで幅広い治療法に対応していることが分かった。さらに Secom の方々が話してくださったように、患者さんが在宅医療中家に人がいなくてもマイドクターを引くと異常を知らせることができる。これは在宅治療のリスクである安否確認が出来ないことを大きく改善することが出来ると考えた。私は臨床工学技士を目指す者として、在宅治療こそが自分たちの生きる道ではないかと考えた。患者さんとその家族からすれば在宅治療の機器は見知らぬもので誤作動などの不安も多いと思う。その不安を解決するのが我々であり、医療機器のスペシャリストが担

っていくべきではないかと考えた。なので今後、在宅治療においてどの職種がどのような立ち回りをしているのか、どの職種の需要が高いのかを聞きたいと思う。

59 大変貴重なご講演本当にありがとうございました。とても分かりやすく医療現場の現状または課題など色々知らないことがほとんどで、今の自分にとってすごく勉強になりました。将来、臨床工学技士として働く事になって患者さんの役に立てる立場になってると良いなと思いました。その為に、今自分ができる精一杯のことを頑張りたいです。

60 寝たきり状態の患者でも SECOM のシステムの自動応答機能を用いれば、リアルタイムで患者の状況確認やモニタリングができることに感心した。これにより独居高齢者が安心して暮らすことができると感じたため、より普及していくべきサービスであると思う。バイタルサインモニタによる遠隔センシングはまだまだ発展途上ではあるが、独居高齢者の安否確認や体調管理をすることができるため、非常に需要のあるサービスだと感じた。また、サービスとしては独居高齢者とその家族間で行うため、安価で利用できる点にも非常に有用なサービスだと感じた。今後の医療の在り方について色々考えさせられた。診断によるビッグデータがあるにも関わらず AI への応用が困難である状況や、国の仕組み・プライバシーなどの法的問題などがあることも分かった。AI を用いた遠隔医療がどのように進化していくかが楽しみである。

61 (今後聴きたいテーマ) 今回の講演を聞かなければお話を聞く機会がもう無いであろう皆様のお話を聞くことができ、色んな方面でとても興味を持ちました。ひと括りで医療職と言うけれど、色んな方たちのお陰で成り立っている職業なのだと改めて考えさせられました。基礎能力はもちろん、緊急事態に対応する能力などのどんな状況であっても良い方向へもって行こうと考える皆様の前向きなお気持ちにとっても感動いたしました。これを機に私自身も考え方を改めてレベルアップしたいと思いました。セコム 様のような身近で親近感のあるテーマだとすんなりお話が入ってくるので、またこういったテーマで別のお話も聞いてみたいと思いました。

62 (今後聴きたいテーマ) 今後、遠隔モニタリングが一般に普及された時に、臨床工学技士がどのような役割を担うことになるのかを詳しく聞いてみたいと思った。

63 最新、または将来の医療についてさまざまな話を聞くことができとても興味深かったです。普段授業でも医療や医療機器について学んでいますが、今日はその医療と工学の知識を利用し開発されているもの、今後医療がどのように変わっていく必要があるかなど一歩先の話を長い時間、私のような学生にもわかりやすく説明していただきありがとうございました。今後臨床工学技士の役割は増えると先生方もおっしゃっていましたが、今日話を聞いたうえで遠隔治療、AI などが当たり前になった時に臨床工学技士の役割になる仕事、任務を具体的に知りたいし、臨床工学技士を目指している身として自分でも考えていく必要があると強く思いました。

64 今回の講演で遠隔医療についての各企業や先生方のわかりやすい説明によって、遠隔医療の研究や考え方、課題等を知ることができ、遠隔医療についての理解を深めることができたと共に将来的に自身が背負うであろう役割の重さを知ることができた。また、講演の一部を理解することができず

自身の勉強不足を痛感した。

- 65 現在在宅医療についてどこまで進んでいるかなどを知ることができ、この講演に参加できて良かったと思いました。私たちの身近にある企業様のお話からは、現実的な在宅医療、見守り医療の発展を実感することができ、特別講義をしてくださった先生方からは、遠隔医療に必要な機械が発展していることや、医療の未来について考えることができました。このような講演に参加させていただき、ありがとうございました。
- 66 このコロナ禍だからこそオンライン診療や対面無しの安否確認などの重要性が改めて分かり、先生もおっしゃっていたように医療という物を見直す時期に来ていると痛感しました。これから技士の重要性が更に上がっていくであろうということでオンライン診療等や業務内容も含めたこれからの臨床工学技士の在り方に興味を持ちました。
- 67 臨床工学技士の今後の在り方や職種の中でのいろいろな選択肢を考える上でのすごく良い指標のようなものをもつことができたと思いました。また、いまの時代についての医療をすごく考えさせられる講演会ですごくいい体験ができたと思いました。ありがとうございました。
- 68 (今後聴きたいテーマ) コロナ患者と ME 機器
- 69 興味深い講義が多くとてもためになりました。特に情報化医療について詳しく知りたいと思いました。レベルの高い講義を聞き、今後の勉強へのモチベーションが上がりました。
- 70 いろんな観点から医療について考えさせられる講演でもっと医療従事者になるために勉強に励まなければと思いました。
- 71 (今後聴きたいテーマ) 株式会社セコムさんの遠隔で在宅医療をしている人たちを支えることにとっても興味を持てた。また、中島先生の、まめけ、もとても面白かった。今後機会があれば、スポーツと臨床工学技士が関連したような講演を聴いてみたいと思った。
- 72 どの先生の説明もわかりやすかったです。特に、黒田先生がおっしゃっていた「医療機器が嘘をつく可能性があり人間が機械の嘘を見抜くことが大切である」ことを肝に銘じて、将来臨床工学技士になりたいとおなりたと思いました。
- 73 遠隔モニタリングの技術や方法、実際の実験の収集データの解析結果を見られたのが興味深かった。特にテレビの見守りシステムについては、利用時間だけで生活リズムや季節による活動量の差が分かるのが面白かった。今後テレビの視聴人口が減少してきたとき、それにとって代わるものは何になるかが気になった。遠隔医療が拡大するにつれて、臨床工学技士としての役割や仕事のニーズがどんどん変化していくことを理解し、それに対応できるようにならなければいけないと感じた。
- 74 今日の講演の内容では後半では少し難しい話に感じましたが、前半のセコムの講演では我々過程で身近に存在するものについてのご説明や大学で医療知識を身につけたうえでの視聴は身近でありながら貴重な経験だったと感じます。

- 75 様々なテーマに対して、どのような取り組みがされているのか知ることができた。説明もとても分かりやすいものばかりで聴きやすかった。
- 76 (今後聴きたいテーマ) 現在の遠隔医療における問題点や展望を詳しく解説してくれたため、非常に頭にすらすら入ってきてとても有意義な時間でした。今後は現在の遠隔医療に使用されている医療機器の具体的な詳細または改善すべき箇所などを知りたい。
- 77 遠隔医療における研究のアプローチの方法や、現在の医療体制、今後変わりゆくであろう医療について知ることができてよかったです。
- 78 どのテーマもすごく興味深い内容でおもしろかった。昔の未来と現在とではやはり社会の状況などからも全然違う。だから今思う未来も考えているものとは全然違うかも知れない。だが、やはり AI や遠隔医療は今もこれからも必ず重要視されるものだとは再確認した。医療とセコムなどの連携などのように、色んな分野が協力してこの社会を支えることのすごさ、自分の知らないところでこんなことが起こっていたのだと驚きだった。もっともっと多種に渡って連携していけばもっと今の日本に合った社会を作れる気がした。
- 79 特に黒田先生のデジタルの視点から見た医療のこれからの話はとても分かりやすく自分たちのこれからに活かしたいと思いました。
- 80 これからの医療と情報について、講演を聞く前よりも身近に感じることができました。これからの医療は情報が多く提示され、便利になる反面、自分自身が下した判断に責任を持つことが重要になってくるのだと感じました。
- 81 今回この講演を視聴させて頂き、日本が直面している医療の情報化や、世界の情報医療の状況について知ることができました。ありがとうございました。普段学んでいる中ではそのように視野を広げて考えることがなかったので、そのような考え方があるのかと刺激になりました。来年もこのような講演がありましたら、是非参加したいと思います。
- 82 セコムがセキュリティ以外にもこのような活動をしていることに驚き、すごいと思いました。最後の AI の話は興味がわきましたが少し難しかった。
- 83 在宅医療の発展により、さらに臨床工学技士のニーズが高まっていると実感した。
- 84 非常に興味深いお話ばかりでした。勉強のモチベーションも上がりましたし、自分の将来のことはもちろん、医療界の事も考えることが出来ました。
- 85 長期のモニタリングの方法として、排泄物からデータを収集する方法があることを知った。普段の生活の行動の一つによってデータ収集が可能であるため、長期間で行っても被検査者に負担がかからないことが大きな利点だと思った。医療に AI 技術がこれから多く入ってくるようになった時、技士の役割は今以上に重くなると感じた。

- 86 どの先生方もとても面白い講演内容でした。個人的には京大の黒田先生のお話がとても興味深く印象に残っています。
- 87 今後の医療について知れて貴重な機会でした。
- 88 （今後聴きたいテーマ）AI と医療の今後の未来についての守護霊エージェントなどの話は興味深かった。もっと他の AI と医療の話を聞きたい。
- 89 今後の医療の開発について興味がわいた。
- 90 （今後聴きたいテーマ）病院内起業について
- 91 （今後聴きたいテーマ）学会全体を通して医療支援のための実験などが実施されている緊急対応のため、及び継続した健康管理の研究が、今後の医療現場に対するビックデータとなり、将来の医療とAI の混合が推進されていくのだろうと思った。現在は、在宅医療にフォーカスが当てられており、人工臓器などが開発されているため、携帯型の人工臓器についてなどについても詳しく聞いてみたい。
- 92 どの方の講演内容も興味深く大変勉強になりました。特に最後にお話になられた黒田先生のご講演内容は、正直すべてを理解するには私の知識不足から難解ではありましたが、日本や世界の医療のこれからを見据えられた内容で、大変興味のわくお話でした。将来医療に携わることを目標としているものとして、もっと視野を広げた学習をしていくべきだと感じました。
- 93 （今後聴きたいテーマ）黒田先生のよりミクロな話を聞きたいです。
- 94 高齢の方の多くがテレビの情報を鵜呑みにしてしまう可能性がある為、各々が正しい情報を選択するというリテラシーを高めていく必要があると感じた。
- 95 貴重なご講演をお聞かせいただきありがとうございました。セコム株式会社様やセコム医療システム株式会社様で行われている緊急時対策の仕組みをわかりやすくご説明いただき、大変勉強になりました。また中島先生、黒田先生によるユニークかつ専門的なお話も聞くことができ、改めて医学に関する興味や、ME を目指す志が強まったと感じます。ありがとうございました。
- 96 要介護者が増え、在宅での医療が必要となる中で、本日の講演会の内容はこれからの時代にとっても必要なのだと感じました。セコムの取り組みは、救急車の不足や病院の受け入れに時間がかかるなどの公的な医療の提供が難しい分、民間企業が補えるのではないかと感じました。中島先生のお話は日常生活の中から健康を管理するという非常に興味深かったです。今後聞きたいテーマは医療機器の発達で身体は守られても、精神的な部分やメンタルケアは難しいように感じます。今日のお話でもデータを蓄積していくことやAI を使うことで健康面を管理しやすくなるということでしたが、患者さんや家族中にはデータでは正常でも不安を抱えている方は多く、そんな時、実際の健康よりもお医者さんに診てもらうことで安心できる方もいると思いました。そのため今までの医療ではケアできていたメンタル面などはどのようにサポートしていくのかを聞きたいです。

- 97 バイタルサインを遠隔で計測するという話に興味を持ったので、今後深い話をお聞きしたいと思った。また、どの質問に対してすごく分かりやすく説明して頂いたので、よく理解できた。
- 98 中島先生のご講演にて自分の稚拙な質問をするにもいかず、質問できなかったことに後悔しかありませんが、講演の内容にあった尿の温度測定をする際に人体からの熱放射や便器自体の暖房等の外部の要因がセンサーの精度に及ぼす影響について知りたかったです。臨床工学技士の業務である透析と尿は親密な関係にあり、コロナ禍の今遠隔にて日常生活の一部から検査ができる仕組みに大変興味が湧き、今後この分野の研究を自分なりに調べて行きたいと感じました。今後聞きたいテーマとしてはねごろ研究会が推し進めていらっしゃる在宅透析の研究については勿論のこと、遠隔にて得られた検査結果をネットワーク化された電子カルテなどに紐付けし、検査値を AI に診断してもらうのような研究があれば見てみたいです。
- 99 黒田先生のお話は難しかったです、一つ一つの話題が大変興味深く、また臨床工学技士の展望にも繋がっていて、将来の医療の在り方を垣間見れたように思いました。 昨今では AI や IoT だけでなくコロナ感染症によって遠隔やオンラインという概念が強まっています。その中でその概念にたいしての多くの見解を目にしますが、今日の黒田先生の見解は私にとって非常に新鮮で、概念のイメージを明確にできたように感じています。
- 100 大変興味深い内容でした。今日の内容をこれからの大学生活に役立てたいと思います。
- 101 セコムの緊急通報システムは、私に 1 人で暮らしている祖父がいるため、非常に興味を惹かれました。排泄の話での尿の熱放射を利用して、尿量を計測するというのは、最初どういうことなのか理解するのが難しかったです、原理を聞き、すごく納得が出来ました。高齢者の患者が記録をするとミスが多いということだったのでこういった研究がもっと増えていけば良いと思いました。遠隔医療の話では、途中の動画での、患者が夜中に電話をしてくるといった行動は、もし自分の立場でもやってしまうのではないかと思います。医師のために AI の発達が進めばよいと思いました。そして、技士の役割が重くなっていくということを聞き、しっかりとこれからの医療に対応できるような臨床工学技士になろうと思いました。
- 102 今回、4 人の方々のご講演で多くのことを学ぶことができました。少し難しい部分もありましたが、分かりやすく説明いただき理解することができました。
- 103 どの先生方もわかりやすい説明で、これからの医療と自分の未来を考える貴重な機会になりました。ありがとうございました。
- 104 前半は既に出来ているセコムの商品の紹介、運用方法やそれに伴う利点の説明で分かりやすかったのですが、後半の内容は現在制作中あるいは発展段階のもので、調査データの考察、実用するにあたっての懸念点、今後の展望などが主だったので、内容が難しく理解が追いつかない部分もありました。しかし、講演を聞くことで現在どのような取り組みがされているのかという知識を得る事が出来たので、面白かったと思います。

- 105 自分の意見だけで物事を調べていくのではなくて、他者の意見を聞くことで自分が考えていなかったような意見や情報を得られた。今後の日本の医療体制がどのように変化していくのかもっと聞きたかった。
- 106 黒田先生の話は難しかったのですがオンライン診療や遠隔モニタリング、都合の悪い未来や、子供が一人で行ける病院などの未来の話はとても楽しく、興味を持って聞く事ができました。
- 107 とても将来について考えるような講義で私自身のスキルアップになりました！
- 108 これからの医療の定義が変わっていくのではないかと感じました。
- 109 医療のことを幅広い視野で教えて頂き、非常にためになる公演でした。今後につなげていけたらなと思います。ありがとうございました。
- 110 黒田先生のお話を聞いて、実際に AI が医療で実用的になった後に医師に残る仕事などを想像することができた。それから日本の法律や医療をさらに発展させるためにも更新していく必要があると思い興味深かった。 それから、超高齢化社会と言われる日本で、セコムのホームセキュリティやセコムみまもりホンなどのサービスをさらに世の中に浸透することができれば、高齢者が安心して生活できる社会になるので、私自身も田舎に住んでいる祖母にこのようなサービスがあることを伝えたいと思った。全体を通して少し専門的でわからないこともあったが、これから先、医療従事者である臨床工学技士を目指していく中で、今日の講演会で聞くことができたことは生きてくと思うので、たまには今日の話を思い出しながら、これからより専門的な知識を身につけていこうと思う。
- 111 中島先生のお話の中で、利便性や実用性のほかにもカメラの使用などのモラルなどの多方向からの視野の必要性、黒田先生のお話では医療の定義について今一度見直し、新しい考え方を取り入れていかなければいけないと感じました。医療に対する考え方が改められる一日でした。
- 112 将来の医療に関して、日本のみならず世界中から重要視されている遠隔医療の分野について前線で研究を進めておられる方々の講演を拝聴することができ、大変貴重な経験となりました。特に、中島先生の、患者の遠隔モニタリング時の生体情報の収集に、日常生活で必ず使用する機器を活用するといった研究は大変面白く、医療の分野にとらわれず、さらなる応用が期待できる研究であると思いました。
- 113 どの講演も丁寧な説明で非常に分かりやすい講演でした。特に黒田先生のご講演は、今後の医療展望や、臨床工学技士に求められる事が再認識できたと思います。自分自身も視野を広く持ちながら、臨床工学技士として、将来社会に貢献したいと思ったのと同時に、モチベーション向上にもつながったので、講演を聞くことが出来て非常に良かったです。
- 114 黒田先生の講演は、とても難しく理解するのに時間がかかるものもありましたが、どの先生の講演も面白く、とても興味深い話ばかりでした。
- 115 (今後聴きたいテーマ) 心臓関連の話が最も印象に残っていたので、さらに詳しいお話を聞きたい

と思いました。

116 分かりやすかったです。

117 こらからの医療は、遠隔医療など AI やインターネットを使った医療が大切になって来る事やそのメリット、難しさを感じることができました。どの講義も、図や絵がありとても理解しやすかったです。特に、次世代の医療基盤法の全体像がどうなっているのかを理解することができて良かったです。また、尿の温度から尿量などを推測し、病気がないかの判断するという研究はこんなこともできると言うことに驚きました。それに、オンライン診断と遠隔モニタリングの違いも理解することができました。全ての講義を通じて、現代の社会は情報化が進み、情報を取り扱う力がより必要になってくると感じたので、大学生活の中で情報リテラシーなどを学び身に付けていきたいと思いました。今回のねごろ医用実学研究会の講義で学んだことを活かし、今後の学業に励んでいきたいと思います。

118 黒田先生の話にありました、子供が一人でいけるような医療システムの話聞き、このシステムが普及されていくと親御さんの負担が減りとてもよい生活が送れるのではないかと思います。コロナウイルスが流行している今では遠隔診断などの非接触型の診察への需要が高まってきている状況ですが、これから先医療機関はどのような形態になっていくのかとても楽しみです。

119 初めて講演会に参加したのですが、とても理解できるものから理解するのが少し難しいものまであり、これから勉強に励むことで多くの知識を得る必要があると感じることができる良い機会でした。

120 内容が難しく感じましたが、既存する考え方も大事ですが、それにとらわれずに新しい考えを見出していくことが大切だと思いました。また、4年生になると研究を自分もすると思いますがあまりやり方がわからなかったためとても参考になりました。

121 (今後聴きたいテーマ) 臨床工学技士の仕事の内容は今後どのように変化していくのかということ。

122 どの先生も着眼点がすごいと思った。特にセコムが在宅医療や病院運営などの支援に役立つサービスを提供していたことを初めて知って興味を持った。

123 私は今回の講演会での共通のキーワードとして遠隔化を上げたいと思います。なぜなら、話していた人、全員がデータの収集や診察の遠隔化の話をしていたことからその大切さがわかるからです。なので、私が医療機器メーカーに勤めた時、遠隔医療で役立つような医療機器を開発したいと思います。

124 遠隔医療の発展につながるモニタリングシステムは、技術面の課題だけでなく、それを利用する患者の能力や倫理などの面も課題であり、それらを考慮して開発する必要があることが感じられた。また、AI が医療分野で大きく活躍するようになった際の医師・臨床工学技士の役割や、医療情報に関する問題点を知ることができたので、これから大学で専門知識を習ったときに関連付けて、重要な知識や必要な知識の幅を広げたい。

- 125 非常に興味がひかれる話ばかりで、とても楽しかったです。
- 126 富山大学工学部 中島先生による熱式尿流計のお話はとても内容が面白く楽しい講演でした。尿を熱センサーにより測るという着眼点がとても面白く、また大学内の生徒に協力してもらったり、附属病院に設置をしてデータを得ている部分がとても大学らしい研究だと感じました。 京都大学医学部 黒田先生による公演はとても内容が深く、遠隔医療についてとてもわかりやすく話されておりとても楽しい公演でした。昔想像した医療の未来と 10 年代に想像した医療の未来が全然違うことに驚きまた、その理由にも驚きました。
- 127 私の祖父は病気がちなのですが、遠くに住んでおり、さらに情報機器にうといたため連絡もあまりとれません。今は大丈夫でも今後のことを考えると心配です。今日のセコムさんの講演はとても興味深く、私の不安を解消してくれるものでした。家族にも話してみようと思います。
- 128 どのご講演も大変興味深いものでした。今後、医療の情報化はますます進み、診療におけるデータの重要性が増す中で、工学と医療の知識を併せ持つ臨床工学技士の役割は大きくなっていきます。そのような時代の流れに適応できる臨床工学技士を目指す者として、自覚と責任を持って日々励もうと改めて思いました。
- 129 (今後聴きたいテーマ) 今後の AI 医療技術について
- 130 黒田先生のご講演内容はかなり難しいものであったが、具体例などを出してかみ砕いて説明してくださっていたので大変わかりやすかった。
- 131 医療行為だけではなく、一つの工夫から命や健康をサポートできる仕事もあるとわかり、興味を持ちました。説明もわかりやすかったです。
- 132 セコムの警備が医療にも関係してきているのがすごいと思った。
- 133 私は在宅医療に特に興味があったので、とても聞いていてためになりました。来年も参加させていただきますので、よろしくお願いします。
- 134 コロナウイルスの影響で医者と接触しない医療が話題になる中、問題点や現状を理解できました。とても面白かったです。
- 135 排泄をするトイレに着眼していることが、自分では想像すらしてなくて面白かった。
- 136 電子カルテについて詳しく学びました。
- 137 今回のような講演会に参加するというのは初めての経験で、終始戸惑いと緊張が抜けませんでした。しかし、講演者の方々による非常に有意義で今後のためになる話は聞いていて、とても面白いと感じました。また機会があれば参加したいという風に思います。
- 138 医療を幅広い視野で、考えることができた良い機会でした。

- 139 現在とても注目されている遠隔医療について詳しく聞くことができて良かった。今回聞いたことを将来の現場で活かし、医療の発展に貢献していきたいと思った。
- 140 この研究会で今まで知らなかったことを沢山知ることができました。様々な先生方が、病院や人々に役立つための研究をされていてとてもすごいなと思いました。これからも様々なことを学べるといいなと思います。
- 141 これからさらに増える在宅や遠隔での医療などの在り方やこれからの医療の在り方についてもっと詳しくいろいろな話を聞きたいと感じました。今回の講演の内容は、まだ難しい話やテーマも多くありましたが今の医療の形やこれからの医療を多く聞くことができたのでとても面白い講演でした。
- 142 家にいながらも、遠隔により高齢者などの健康チェックや医師の診断ができるのは、とても便利で安心できる、すごいことだと思いました。
- 143 遠隔医療の発展は少子高齢化が進み病院に行くことが難しいお年寄りが多くいる日本ではとても重要だと感じました。
- 144 自分にとって少し難しい内容だったので、これからもっと勉強して少しでも講演会の内容を理解できるようにしたいと思います。
- 145 セコムのは、必要とする家庭は同居や介護サービスを利用しているため伸びていないのではと素人ながら感じた。黒田先生の AI について、AI の知識などが広がったが内容が難しすぎてよくわからなかった。
- 146 黒田先生の話は少し難しい話でしたがとても分かりやすい説明でした。熱式尿流計の今後の発展を聞きたいです。
- 147 今後の医療の展望について詳しく知ることができました。AI が医療により深く関わってくる時代が近いうちに訪れるということを強く感じました。それに応じて臨床工学技士の職務とその責任も増していく事を意識して、それらを全うできる技師になれるよう学生生活を送ります。
- 148 遠隔医療をテーマにして、セコム医療システムの方々からは救急ボタンや遠隔診療支援プラットフォームの発表がありました。昨今の現状から体温計やパルスオキシメータの需要の増加や寝たきりの患者の対応が多い事からの体重計のセレクトが比較的低いといった話も伺い、現状を知る事ができ良かったです。工学に基づいた観点からは健康管理、特に排尿・排泄測定からの話を伺いました。現在は紙コップを初め可搬型、便器型便器後付け型の排尿測定が可能であるといった事実や、高齢者はテレビを比較的多く見る観点から、テレビを用いてサーバを用いない見守りシステムの思案など興味深い内容でした。最後に遠隔医療は医療の方向性をどこに向かわせるかといった内容では、医療の今と将来をわかりやすく説明してくださり、法律での縛りにより考えを実行に移す事に時間がかかるといった現状も聞けて良かったと感じました。